

(15歳 ~ 18歳以上)

キ ー コ ン セ プ ト 1 人 間 関 係	<p>1.1 家族</p> <p>キーアイデア 性的関係や健康問題は家族関係に影響しうる</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族のメンバーが、何かセンシティブなこと（HIV 陽性ステータス、妊娠、結婚、お見合いの拒否、性的虐待経験、幸せな性的関係にあることなど）を明らかにした際、家族一人ひとりの役割や関係性がどのように変化するのを見極める（知識） ・性的関係や健康に関する情報を明らかにしたり共有したりする際に、自分たちの役割や関係性がどのように変化するのかを省察する（スキル） <p>キーアイデア 性的関係や健康問題に関する情報を共有したり明らかにしたことにより困難に直面したとき、若者や家族が頼ることのできるサポートシステムが存在する</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性的関係や健康に関する情報を明らかにしたり共有したりした若者を、きょうだい、親／保護者、その他の家族がどのようにサポートできるのかを説明する（知識） ・家族が互いを尊重しながらサポートし合えば、困難を乗り越えられることを認識する（態度） ・援助を必要とする若者自身や家族のメンバーをサポートするため、確かで信頼性のあるコミュニティ資源にアクセスする（スキル） <p>1.2 友情・愛情・恋愛関係</p> <p>キーアイデア 健康的な性的関係と健康的でない性的関係がある</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康的な性的関係と健康的でない性的関係の特徴を比較する（知識） ・性的関係は健康的なものにも健康的でないものにもなりうることに気づく（態度） ・健康的でない性的関係を防ぐ方法を実際にやってみる（スキル） ・誰が信頼できるおとなかを明らかにし、もし健康的でない関係性にある場合、助けを求められる場どのようにアクセスすればよいかを実際にやってみる（スキル） <p>キーアイデア 成熟した個人として親愛や愛情を表現するさまざまな方法がある</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康的な性的関係の中で親愛を表現するさまざまな方法を説明する（知識） ・性的行動は愛情を表現するうえで必ずしも必要ではないことを認識する（態度） ・適切な方法で親愛や愛情を表現する（スキル） <p>1.3 寛容・包摂・尊重</p> <p>キーアイデア ステイグマや差別に異議を唱え、包摂、非差別、多様性を促進することは重要である</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステイグマや差別が、個人、コミュニティ、社会にどのようにネガティブな影響をもたらすかを分析する（知識） ・ステイグマや差別を禁止する既存の法律をまとめる（知識） ・「区別」と思われている差別に立ち向かうことの重要性を認識する（態度） ・排除されている人々へのサポートを表現する（スキル） ・ステイグマや差別に反対し、包摂、非差別、多様性の尊重のために主張をする（スキル）
--	--

	<p>1.4 長期の関係性と親になるということ</p> <p>キーアイデア 結婚や長期の関係性はやりがいもあれば困難もある</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結婚や長期の関係性のもたらすやりがいや困難を見極める（スキル） ・親には継続的な教育への権利があることを認識する（態度） <p>キーアイデア 子どもをもつかもたないか、なぜ、いつ子どもをもつかの決定に影響するさまざまな要因がある</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人々が子どもをもつ、またはもたないことを決める、さまざまな理由を例示する（知識） ・ジェンダー、HIVの状態、性的指向、ジェンダーアイデンティティにかかわらず、すべての人が親になれることを認識する（態度） ・親になりたい人も、なりたくない人もいて、またすべての人が親になれるわけではなく、親になりたいと思わないまま親になる人もいることを認識する（態度） ・子どもをもつかもたないか、なぜ、いつ子どもをもつかという自分の意見に強く影響を及ぼしている要因を批判的に見極める（スキル） <p>キーアイデア 親/保護者が果たすべき責任のあるさまざまなニーズを子どもは持っている</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体的、感情的、経済的、健康的、教育的な面での子どもの主なニーズと、それに関連した親の責任を分類する（知識） ・子どものウェルビーイング（幸福）が人間関係における困難にどのように影響されるかを例示する（知識） ・親になるうえでの健康的な関係の重要性に気づく（態度） ・自分たちの身体的、感情的、経済的、教育的ニーズを親/保護者に伝える（スキル）
<p>キ ー コ ン セ プ ト 2 価 値 観 ・ 人 権 文 化 セ ク シ</p>	<p>2.1 価値観、セクシュアリティ</p> <p>キーアイデア 自身の価値観、信念、態度を知ることが、それらに一致する性的行動をとるために重要である</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セクシュアリティと生殖の健康に関連する自身の価値観と一致している行為、一致していない行為を比較対照する（知識） ・自身の価値観がどのように性的行動を導くかを的確に認識する（態度） ・自身の価値観に基づいた性的行動を選ぶ（スキル） <p>キーアイデア 子どもは成長するにつれて、親や保護者とは異なるかもしれない自信の価値観を育む</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セクシュアリティに関して自身のもつ価値観と、親や保護者のもつ価値観を区別する（知識） ・自身の価値観の中には親や保護者と異なるものがあることを認識する（態度） ・価値観の違いによって起こる家族との対立を解決するさまざまな方法を実際にやってみる（スキル） <p>2.2 人権・セクシュアリティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ キーアイデア 性と生殖に関する健康に影響を与える人権を取り扱う地域の法令、国内法、国際協定がある <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童・早期・強制婚、女性性器切除/切断（FGM/C）、インターセックスの子どもたちへの同意のない手術、強制不妊手術、性的同意可能年齢、ジェンダー平等、性的指向、ジェンダーアイデンティティ、妊娠中絶、レイプ、性的虐待、性的人身取引などにかかわる国内外の法律や政策や、性と生殖に関する健康にかかわるサービスや性と生殖に関する権利への人々のアクセスを分析する（知識）

ユ ア リ テ ィ	<ul style="list-style-type: none"> ・性と生殖に関する健康に影響を与える人権侵害を具体的に例示する（知識） ・性と生殖に関する健康に影響を与える人権を的確に認識する（態度） ・性と生殖に関する健康に影響を与える人権を支持する地域や国の法令を求めて社会に向けて呼びかける（スキル） <p>キーアイデア 性と生殖に関する健康を支える人権を知り、促進させることは重要である</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族、学校、コミュニティの中で人権を促進するさまざまな方法を調べる（知識） ・性と生殖に関する健康について影響を与える人権と、差別や強制、暴力のない状態で意思決定する権利を促進することはなぜ重要なのかを認識する（態度） ・性と生殖に関する健康に影響を与える人権を促進するための行動をとる（スキル） <p>2.3 文化、社会、セクシュアリティ</p> <p>キーアイデア 自身のものの見方を発達させていく中で、社会的、文化的規範が性的行動にどのように影響するかに気づくことが重要である</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性的行動や性の健康にポジティブまたはネガティブに影響する社会的・文化的規範を比較対照する（知識） ・性的行動について自分の見方を発達させる重要性を的確に認識する（態度） ・自分が大切に感じる社会的、文化的規範と、それらがセクシュアリティや性的行動に関する個人的信条や感情にどのように影響しているかを省察する（スキル）
キ ー コ ン セ プ ト 3 ジ ェ ン ダ ー の 理 解	<p>3.1 ジェンダーとジェンダー規範の社会構築性</p> <p>キーアイデア 自分自身と他者のもつジェンダーバイアスに対抗することは重要である</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性、女性、多様な性的指向およびジェンダーアイデンティティをもつ人々、それぞれに対するジェンダーバイアスの例を再認識する（知識） ・自分自身や他者のもつジェンダーバイアスは他者に悪影響を与えることがあることを認識する（態度） ・自分自身のもつジェンダーバイアスのレベルを批判的に見極め、コミュニティに存在するジェンダーバイアスについて分析する（スキル） ・自分自身と他者のジェンダーバイアスに対抗する方策を実際にやってみる（スキル） <p>キーアイデア 同性愛嫌悪（ホモフォビア）、トランス嫌悪（トランスフォビア）は多様な性的指向、ジェンダーアイデンティティをもつ人に対して悪影響を与える</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同性愛嫌悪、トランス嫌悪の意味を明らかにする（知識） ・同性愛嫌悪やトランス嫌悪、そしてそれらがもたらす重大な影響を助長する社会的規範を分析する（知識） ・すべての人は、暴力、強制、差別のない状態で愛したい人を愛することができるべきであると認識する（態度） ・同性愛嫌悪やトランス嫌悪を経験した人へのさまざまなサポートを示す方法を実際にやってみる（スキル） <p>3.2 ジェンダー平等、ジェンダーステレオタイプ、ジェンダーバイアス</p> <p>キーアイデア ジェンダー不平等、社会的規範、力の差は、性的行動に影響し、性的強制や虐待、ジェンダーに基づく暴力のリスクを高めるかもしれない</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダー不平等や力の差が、性的行動や性的強制ならびに、虐待、ジェンダーに基づく暴力にどの

- ように影響するのかを明らかにする（知識）
- ・ジェンダー不平等や力の差は、性的行動、コンドームの使用、性と生殖に関する健康サービスへのアクセスなど、安全な方法を選び実行する能力に影響を与えうることを認識する（態度）
- ・性的な強制や虐待、ジェンダーに基づく暴力に直面した場合、サポートにアクセスするか、他者がサポートにアクセスするのを助ける（スキル）

3.3 ジェンダーに基づく暴力

キーアイデア 親密なパートナーからの暴力は有害であり、それを経験した人々のためのサポートが存在する

学習者ができるようになること

- ・親密なパートナーからの暴力はさまざまな形（精神的、身体的、性的など）をとることを認識する（知識）
- ・親密なパートナーからの暴力は不当な行為であり、その虐待的な関係性から離れることが可能であることを認識する（態度）
- ・自分たちがこうした形の暴力を経験した場合、サポートしてくれる信頼できるおとなにどのようにアプローチしたらよいかをはっきりと示す（スキル）

キーアイデア ジェンダー平等の実現を呼びかけ、性的虐待や有害な慣習、ジェンダーに基づくその他の暴力といった人権侵害に対して反対を主張する責任を誰もがもつ

学習者ができるようになること

- ・ジェンダー平等を促進すること、ジェンダーに基づく暴力を減らすことを成功させた活動の具体例を分析する（知識）
- ・インターネット上も含む、公的またはプライベートな場において、人権侵害やジェンダー不平等に異を唱えることの重要性を的確に認識する（態度）
- ・ジェンダー平等とジェンダーに基づく暴力抑制のために呼びかける（スキル）

4.1 暴力

キーアイデア 暴力に晒されることなく、人々の健康とウェルビーイング（幸福）のために呼びかける責任を誰もがもつ

学習者ができるようになること

- ・身体的、心理的、性的なものを含むさまざまな形態の暴力を減らすことに成功した活動の具体例を分析する（知識）
- ・学校、家庭、ネット上、コミュニティを含むあらゆる場に起こる暴力と人権侵害に対して声を上げる重要性を的確に認識する（態度）
- ・すべての人が尊厳をもち敬意ある対応をされる安全な環境の実現のために、社会に向けて呼びかける（スキル）

4.2 同意、プライバシー、からだの保全

キーアイデア 健康で、よろこびのある、パートナーとの合意したうえでの性的行動のために同意は不可欠である

学習者ができるようになること

- ・自分が性的同意を示したり、断ったりすること、また他者の性的同意があるかないかを認識することの利点を分析する（知識）
- ・男性のからだ、女性のからだはどのように異なって扱われるのかや、同意に基づく性的行動に影響する性的行動のダブルスタンダードを比較対照する（知識）
- ・同意に基づいた性的行動は健康的な性的関係において重要な要素であると認識する（態度）
- ・同意を示したり拒否したりすることや、同意の有無を認識するさまざまな方法を実際にやってみる（ス

キル)

キーアイデア 同意を認識し、同意を伝える能力に強く影響を与える要因に気づくことが重要である
学習者ができるようになること

- ・性的同意において、相手の話を聞くこと、認めること、行動すること、行動しないことの意味を議論する (知識)
- ・同意が認識されている場合、されていない場合、同意が示されている場合、示されていない場合の例を比較対照する (知識)
- ・同意を認識する能力、同意を伝える能力に影響する可能性のある要因 (アルコールや薬物、ジェンダーに基づく暴力、貧困、力関係) を分析する (知識)
- ・性的同意を阻害する可能性のある要因を避けることが重要であることを認識する (態度)
- ・同意を示したり、拒否したりする能力をはっきりと示す (スキル)
- ・他者の同意の有無を認識する能力をはっきりと示す (スキル)

4.3 情報通信技術 (ICTs) の安全な使い方

キーアイデア ソーシャルメディアの使用は有益なことも多いが、注意深い閲覧が求められるような道徳的、倫理的、法的な状況もありうる

学習者ができるようになること

- ・ソーシャルメディアを安全に、合法的に、慎重に使うための方策を分析する (知識)
- ・ソーシャルメディアの使用は利点も多いが同時に、安全でない状況や違法行為に結びつく可能性もあることを認識する (態度)
- ・ソーシャルメディアを責任をもって使う計画を立て実行する (スキル)

キーアイデア 性的に露骨なメディアは性的行動や性的反応、体型などに関して非現実的な期待をもたらすことがある

学習者ができるようになること

- ・性的に露骨なメディアがどのようにして男性、女性、性的行動、性的反応、体型などに関する非現実的な期待を生み出すのかを見極める (知識)
- ・性的に露骨なメディアは有害なジェンダーステレオタイプを強化し、暴力的、または性的同意のない行為を普通のことだとさせてしまう可能性があることを認識する (態度)
- ・性的に露骨なメディアによる男性、女性、性的行為の非現実的な描写の結果が、自分に対するイメージ、自信、自尊心、他者に対する理解にどう影響しているのかを省察する (スキル)

5.1 性的行動における規範と仲間の影響

キーアイデア 性的行動に関する合理的な意思決定は可能である

学習者ができるようになること

- ・ジェンダー規範、社会規範、ネガティブなピアプレッシャーに影響を受けている若者と、受けていない若者の性的行動に関する意思決定が例示されているシナリオを比較対照する (知識)
- ・性的行動に関する合理的な判断をしやすくする、あるいはしにくくする要因を見極める (知識)
- ・性的行動に関する合理的な意思決定を強く求める (態度)
- ・性的な意思決定におけるネガティブなジェンダー規範、社会規範、仲間からの影響に対抗するさまざまな方法を実際にやってみる (スキル)

5.2 意思決定

キーアイデア 性にかかわる意思決定は、社会的、健康的な影響を含む結果を自分と他者にもたらす

学習者ができるようになること

- ・個人、家族、社会における性的行動にかかわる意思決定がもたらしうる社会面、健康面の結果について分析する (知識)

健康とウェル

ビ ー ン グ の た め の ス キ ル	<ul style="list-style-type: none"> ・性に関する意思決定は、自分自身、その家族、そして社会に影響することを認識する（態度） ・自分たちの性に関する意思決定によって影響を受ける他者への共感を表現する（スキル） ・性的行動に関する責任ある意思決定をする（スキル） <p>キーアイデア 性にかかわる意思決定は、法的責任を伴う可能性がある</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者にとって、性的行動に関して何が可能で、何が不可能なのか（性的同意年齢、避妊具や性感染症およびHIVの状況、同性間の性的行動を含む健康に関するサービスへのアクセスなど）ということに影響する国内法を明らかにする（知識） ・性的行動にかかわる意思決定を見極めるうえで、自分たちの権利を知っていることが重要であることを認識する（態度） ・性的行動にかかわる特定の意思決定の作用により生じうる法的責任を見極める（スキル） <p>5.3 コミュニケーション、拒絶、交渉のスキル</p> <p>キーアイデア 効果的なコミュニケーションは、個人のニーズや性的な許容範囲を表明する鍵である</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人のニーズや性的な許容範囲を表明する効果的なコミュニケーションの例を分析する（知識） ・性的同意を示すこと、示さないこと、性的同意を聞き取ることの例を示す（知識） ・同意のあるより安全なセックスがなぜ効果的なコミュニケーションを必要とするのかを説明する（知識） ・自分を主張することや交渉のスキルは、望まない性的プレッシャーに対抗し、あるいはより安全なセックスのための意思を強化することを認識する（態度） ・個人のニーズや性的な許容範囲を伝える効果的なコミュニケーションをはっきりと示す（スキル） <p>5.4 メディアリテラシー、セクシュアリティ</p> <p>キーアイデア 行動にポジティブな影響を与え、ジェンダー平等を促進するために、メディアによるネガティブで間違った男性と女性の描写に対抗することができる</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セクシュアリティや性的関係に関するメディアによるメッセージが与えるポジティブ、ネガティブな影響について批判的に見極める（スキル） ・より安全な性的行動やジェンダー平等の促進のためにメディアが積極的に貢献しうるさまざまな方法を提案する（知識） ・セクシュアリティや性的関係、ジェンダー観にポジティブな影響を与えうるメディアの力の可能性に気づく（態度） ・メディアにおけるセクシュアリティや性的関係に関するジェンダーステレオタイプや誤った描写に対抗するさまざまな方法を実際にやってみる（スキル） <p>5.5 援助と支援を見つける</p> <p>キーアイデア プライバシーや秘密を守り、しかも安価で現実的な、敬意ある支援を受ける権利を誰もが持っている</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性と生殖に関する健康のためのサービスや支援にアクセスできる場所を明らかにする（知識） ・若者は、プライバシーや秘密を守り、しかも安価で現実的な、道徳的な判断を排したサービスとサポートを受けることができるべきであることを認識する（知識） ・助けを求める適切な行動をはっきりと示す（スキル） ・罪悪感や恥の意識を抱くことなく、援助や支援、あるいはサポートを求めることを実践する（スキル）
--	--

<p>キ ー コ ン セ プ ト 6 人 間 の か ら だ と 発 達</p>	<p>6.1 性と生殖の解剖学と生理学 キーアイデア 男性と女性のからだは生殖と性に関する能力と機能も含め、時間の経過とともに変化する学習者ができるようになること ・ライフサイクル全体を通じた男女の性と生殖に関する能力をまとめる（知識） ・人は、ライフサイクルを通して性的な存在であることを認識する（態度） ・ライフサイクルを通じた生殖能力の変化について自分がどう感じるかを表現する（スキル）</p> <p>6.2 生殖 キーアイデア すべての人に生殖能力が備わっているわけではなく、また不妊に取り組む方法がある学習者ができるようになること ・妊娠したいが不妊を経験している人のための選択肢を列举する（知識） ・不妊に対応するための選択肢があることを認識する（態度） ・妊娠したいが不妊を経験している人に対する共感をはっきりと示す（スキル）</p> <p>6.3 前期思春期 キーアイデア 生涯にわたってホルモンは、人の感情や身体的変化に重要な役割を果たす学習者ができるようになること ・人の感情的、身体的変化においてホルモンが生涯にわたって果たす役割を分析する（知識）</p> <p>6.4 ボディイメージ キーアイデア 身体的外見の非現実的な基準に対抗することができる学習者ができるようになること ・特定の文化的ステレオタイプ、ジェンダーステレオタイプや、それらが人々のボディイメージや関係性にどのように影響しうるかを分析する（知識） ・身体的外見の非現実的な基準は有害になりうると認識する（態度） ・自分自身のボディイメージと、それが自尊心や性的意思決定、その後の性的行動に対しどのような影響を及ぼしうるかを省察する（スキル） ・身体的外見の非現実的な基準に対抗するさまざまな方法を実際にやってみる（スキル）</p>
<p>キ ー コ ン セ プ ト 7 セ ク シュ ア リ テ イ</p>	<p>7.1 セックス、セクシュアリティ、生涯にわたる性 キーアイデア セクシュアリティは複雑なもので、一生を通して発達する生物学的、社会的、心理的、精神的、倫理的、文化的な側面を含む学習者ができるようになること ・セクシュアリティの複雑さと、それがどれほど多面的で、生物学的、社会的、心理的、精神的、倫理的、文化的要素をどのように含むのか説明し、分析する（知識） ・セクシュアリティは、人間の自然な一部であり、ウェルビーイング（幸福）を高めることを認識する（態度） ・自分自身のセクシュアリティと、それに影響する要素について省察する（スキル）</p> <p>7.2 性的行動、性的反応 キーアイデア 性的行動をとるときには、よろこびを感じられるべきであり、自分の健康やウェルビーイング（幸福）に対する責任が伴っている学習者ができるようになること ・性のよろこびや責任について重要な点をまとめる（知識） ・多くの人は人生の中で、他者と性的接触をしない時期があることを再認識する（知識） ・なぜよいコミュニケーションが性的関係を向上させうるのかの根拠を示す（知識）</p>

<p>と性的行動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダー規範やジェンダーステレオタイプが、性のよろこびに関する人々の期待や経験にどのように影響しているかを省察する（知識） ・自分のからだの性的反応を理解することは、自分のからだを理解することに役立ち、どこかが適切に機能しなくなったことに気づくことにも役立ち、それによって助けを求めることができることを認識する（知識） ・意図しない妊娠、HIVを含む性感染症の予防には、性的パートナーの両方に責任があることを認識する（態度） ・性的なニーズや限度を伝える（スキル） <p>キーアイデア 性的意思決定の際は、意図しない妊娠やHIVを含む性感染症を防ぐため、リスクを低減する方法を優先的に考えることが求められる</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もし出産時や性的虐待、無防備なセックスによりすでにHIVを含め性感染症に感染していた場合、他者への感染率を低減する方法を含む、意図しない妊娠や性感染症の予防に重要な、リスクを低減する方法を分析する（知識） ・金銭や物品の取引を伴う関係は、セーファーセックスを交渉する力を制限する可能性があることを再認識する（知識） ・意図しない妊娠や、HIVを含めた性感染症のリスク、またはこれらへの感染を低減するための選択肢があることに気づく（態度） ・妊娠やHIVを含む性感染症の感染や性感染症の他者への感染を予防するため、リスクを低減する方法を考え、適用する（スキル）
<p>キ コンセプト 8 性と生殖に関する健康</p>	<p>8.1 妊娠、避妊</p> <p>キーアイデア 避妊具の使用は、性的に活発な人々の妊娠を防ぎ、また、子どもをもつ・もたない、もつのであればいつもつかといった計画を助けることができる。それは避妊に関連する、個人と社会への重要な恩恵を伴っている</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入手可能な現代的避妊法（男性用・女性用コンドーム、低用量ピル、注射、インプラント、緊急避妊薬など）がもたらす、個人への恩恵と、ありうる副作用やリスクについて見極める（知識） <p><small>（注射とは避妊薬の注射を、インプラントとは避妊用インプラントを指す。日本で2021/12現在未認可：訳注）</small></p> <ul style="list-style-type: none"> ・性行為をするとき、最も適切な方法、もしくはいくつかの避妊法の組み合わせ方を決定するのに役立つ要因（判明しているリスク、コスト、入手しやすさなど）を調べる（知識） ・コンドームや緊急避妊薬を含む、避妊具を正しく使用することの重要性を認識する（態度） ・さまざまな避妊法について議論し、使用することに対する自信をはっきりと示す（スキル） ・自分が必要になった際、望ましい現代的避妊法にアクセスするための計画を立てる（スキル） <p>キーアイデア 意図しない妊娠というのは起こるもので、すべての若者は健康やウェルビーイング（幸福）に必要なサービスや保護にアクセス可能であるべきである</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期の母親が教育を受け続け修了する権利、差別なく性と生殖に関する健康にアクセスできる権利を守る法律や政策を調べる（知識） ・在学中に妊娠した思春期の女子を排除したり除籍したりすることは、その女子に対する人権侵害であると認識する（態度） ・意図しない／するにかかわらず、妊娠した女子や女性が入手可能なさまざまな保健サポートサービスを明らかにする（知識） ・危険な中絶は女性にも女子にも深刻な健康リスクを引き起こすことを理解する（知識） ・たとえ妊娠が早かったり、意図しないものであっても、妊娠した女性や女子は質の高い、安全で包括的なヘルスケアとサポートにアクセス可能であるべきと認識する（態度）

- ・意図した／しないにかかわらず妊娠した、またはすでに子どものいる友人や愛する人を、健康、教育、ウェルビーイング（幸福）の面でどのようにサポートできるかをはっきりと示す（スキル）

キーマイデア まだ親になる準備ができていない、または親になれないときには、養子縁組も一つの選択肢である

学習者ができるようになること

- ・養子縁組のリスクと利点について見極める（知識）
- ・まだ親になる準備ができていない、親になれない場合には、養子縁組は重要な選択肢の一つであることを認識する（態度）

キーマイデア 健康な妊娠を手助けする習慣や脅かしうる習慣がある

学習者ができるようになること

- ・出生前の、健康な妊娠を手助けする習慣、脅かす習慣をそれぞれ見極める（知識）
- ・健康な妊娠を確実なものにすることは母親だけの責任ではないと認識する（態度）
- ・健康な妊娠を支えるための計画を立てる（スキル）
- ・出生前のサービスへのアクセス方法をはっきりと示す（スキル）

8.2 HIVとAIDSのスティグマ、治療、ケア、サポート

キーマイデア 適切なケア、尊重、サポートがあれば、HIVと共に生きる人たちは、生涯を通して十分に豊かな人生を送ることができる

学習者ができるようになること

- ・HIVと共に生きる人やAIDSを発症している人々に対するスティグマと差別の原因やその影響を分析する（知識）
- ・その国でHIVと共に生きる先駆的な活動家（男性、女性、トランスジェンダーの人々など）を明らかにし、人々のHIVに対する考え方や、HIVと共に生きる人々へのサポートや保護にもたらしてきた変化を説明する（知識）
- ・HIVと共に生きる人々の成果を的確に認識する（態度）
- ・スティグマや差別から自由に生きるために、HIVと共に生きる人々を含めてすべての人の権利のために、社会に向けて呼びかける（スキル）

8.3 HIVを含む性感染症リスクの理解、認識、低減

キーマイデア コミュニケーション、交渉、拒絶のスキルは、若者の望まない性的プレッシャーへの抵抗や、セーフターセックス（常にコンドームや避妊具を使用することなど）を実践する意志を強めることを助けうる

学習者ができるようになること

- ・個人の交渉スキルは、社会的規範、権力の不均衡、意思決定する力における個人の信条と自信に影響を受ける可能性があることを再認識する（知識）
- ・望まない性的プレッシャーへの抵抗や、セーフターセックスの手段をとるために使える、効果的なコミュニケーション、交渉、拒絶のスキルを適用する（スキル）

キーマイデア 性的に活発な人々の間で、脆弱性を減らすためにどの方法を使うかの決定は、その人自身の自己効力感、判明している脆弱性、ジェンダー役割、文化、仲間の規範の影響を受ける

学習者ができるようになること

- ・性的に活発なときに脆弱性を減らすための個人の決定におけるすべての潜在的な影響について批評する（知識）
- ・社会における特定のグループの排除や差別は、かれらのHIVやその他の性感染症への脆弱性を高めることを認識する（態度）
- ・健康やウェルビーイング（幸福）のための個人の計画を立て、実行する（スキル）
- ・コンドームへアクセスするさまざまな方法を実際にやってみる（スキル）

キーアイデア 性の健康にかかわるサービスは、コンドームの提供、HIV 検査・治療を行っており、その中では PrEP・PEP・VMMC（以下の注釈参照）を提供している場所もありうる。他の性感染症の検査や治療、避妊具やジェンダーに基づく暴力といったことへのサービスは、HIV への自身の脆弱性を見極め、必要な検査や治療にアクセスすることを助けてくれる

学習者ができるようになること

- ・ HIV を予防することと、HIV に対する脆弱性を最小限にすることの両方に利用できる性の健康にかかわるサービスを見極める（知識）
- ・ PrEP や PEP を含む、安全で信頼できる HIV 検査や他のさまざまなサービスにアクセスできる場所を明らかにする（知識）

以下の注釈は、ガイダンスではなく厚労省検疫所のサイト FORTH HIV/AIDS について（ファクトシート）の <https://www.forth.go.jp/moreinfo/topics/2017/12221202.html> より引用

抗レトロウイルス薬を用いた予防

抗レトロウイルス療法（ART）の予防における恩恵

2011 年のある試験によれば、HIV 陽性患者が有効性のある抗レトロウイルス（ARV）薬の服用方法を遵守すれば、感染していない性交渉のパートナーに感染させるリスクを 96%下げられることが確認されました。抗レトロウイルス療法を全ての HIV 感染者に開始するとして WHO の勧告は HIV の感染伝播の減少に大きく貢献するでしょう。

* HIV 陰性のパートナーに対する暴露前予防(pre-exposure prophylaxis: PrEP)

HIV の経口暴露前予防(PrEP)は、HIV の感染を防ぐために HIV 非感染者が ARV 薬を日常的に使用することです。パートナーの片方が感染者、もう片方が非感染者(Serodiscordant)の異性カップル、男性と性交渉をする男性、トランスジェンダーの女性、ハイリスクの異性カップル、薬物注射の使用者などの集団において行われた 10 件以上のランダム化比較研究で、経口暴露前予防(PrEP)には HIV の感染伝播を減らす効果があることが実証されました。WHO は、予防方法の組み合わせの一環として、HIV 感染のリスクが高い人の予防法の選択肢として経口暴露前予防(PrEP)を推奨しています。WHO は、この勧告を HIV に感染していない妊娠女性や授乳中の女性に拡大しました。

* HIV に対する暴露後予防 (pre-exposure prophylaxis: PEP)

暴露後予防(post-exposure prophylaxis :PEP)とは、感染を予防するために HIV に暴露してから 72 時間以内に ARV 薬を使用することです。PEP には、カウンセリング、一次救急処置、HIV 検査のほか、28 日間の経過観察と ARV 薬の服用が含まれます。WHO は、職業上の暴露にも非職業上の暴露にも、そして成人の暴露にも子どもの暴露にも、暴露後予防(PEP)の使用を奨励しています。

男性の包皮環状切除 (VMMC)

男性の包皮環状切除は、男性における HIV の異性間感染のリスクを約 60%低下させます。これは、HIV の罹患率が高く、男性の包皮環状切除の実施率が低いアフリカの東部と南部の 15 か国で支援が行われている重要な予防的介入です。また、VMMC は、あまり医療支援サービスを受けない男性成人および青年男子に（予防対策を）届けるための良い手段ともみられています。

2007 年以降、WHO は新たな予防戦略としての VMMC を勧めており、アフリカの東部と南部の約 1,500 万の青少年男児および成人男性に、HIV 検査および安全性の高い性交渉とコンドーム使用方法についての教育など、一貫した支援が提供されました。

以下は、男性の包皮環状切除 (VMMC) について疑問視する「JASE 現代性教育ジャーナル No, 103」掲載文 https://www.jase.faje.or.jp/jigyo/journal/seikyoiku_journal_201910.pdf （紹介：本稿編集者）